

In Succession to tradition Leap

校友会会報

No.
31

発行：大阪学院大学校友会

平成26年4月1日発行

〒564-0011

大阪府吹田市岸部南1-19-15

スタジオリバーシュ

Tel 06-6318-3260

Fax 06-6318-3261

URL <http://www.ogu-koyukai.jp/web/>

E-mail koyu@ogu.ac.jp

「Leap」とは「飛躍」であり、校友会がさらなる発展を遂げるという意味が込められています。



昭和41年当時



現在

Topics

- 2 会長あいさつ/都道府県別校友会会員数/キャンパス新旧比較
- 3 各界で活躍するOB紹介
(前川 潔さん、河村 信幸さん、恒松 利秀さん、鈴木 照彦さん)
- 4 Campus News/クラブ紹介
- 5 教員からのメッセージ/私のお勧めの一冊/教員人事
- 6 支部だより(岡山・東海・京都・奈良・滋賀・広島・北陸・四国設立準備中)

8 総会・懇親会報告

- 10 学生奨励金贈呈報告/女子駅伝応援援助報告/
陶芸無料教室開催
- 11 岸辺祭協賛報告/
奈良・北陸・東海・滋賀・岡山 支部模擬店出店報告
- 12 26年度総会・懇親会案内/特別ご招待

校友会からのお知らせ

校友会行事・支部活動・各種案内など、会報に掲載している内容以外にも、ホームページにおいて様々な情報を提供しています。是非ご覧ください。URL <http://www.ogu-koyukai.jp/web/>

会長あいさつ

麗春の候、会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は校友会活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

月日の経つのは早いもので、本会の創立は1988年(昭和63年)、今年で26年目となります。

今年の卒業生約1,200名の新たな会員を含めると、会員数は83,000名余りとなり、より一層の会員相互の親睦を図る為にも、本会が果たす役割が更に重要になってくると改めて感じております。

在学生対象の奨学金制度や学生助成金の給付、協賛イベントの開催、各クラブ団体の活動への援助はもちろんのこと、各支部の様々な活動を通じてより多くの会員の皆様と交流を深めてまいり所存でございます。

会員の皆様方には、今後とも更なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



会長 岡本 寿和

都道府県別校友会会員数



キャンパス新旧比較



新旧学舎比較…みなさんどのようにご覧になっていますか？

年配の方なら、懐かしい…。えっこんなに田園風景って感じた若い方。50年の歳月でこんなに風景は変わっています。

現在、阪急電車南側にある高等学校も、当初は現キャンパスの東側に大学と共存していました。キャンパス中央にはグラウンドと広場があり、南東にはプールもありました。

当時のままの建物としては、体育館と東隣にある8号館です。初め8号館は高等学校の校舎で、その後、短期大学・大学の学舎として使用。卒業生誰もが知る2つの建物です。旧1号館中央には、学生の日常を見守っていた時計塔がありました。今は、17号館に高さ45mと大きく姿を変えながら現在の学生の様子を眺めています。

新学舎



学部・学生数の増加に伴い、キャンパスの建て替えが進み、昭和52年より現在のレンガ色の建物が完成し、真新しい教室での授業がスタートしました。紀伊國屋・高島屋が入ったエスカレーター付きの建物、全館冷暖房。と、驚きの連続でした。

キャンパス内に噴水や湧が流れ、緑豊かなフェニックスガーデンや昼休みにはバンド演奏やイベントを開催するサンクンプラザがあり、ガラス張りの食堂では、にぎやかなランチタイムが繰り広げられています。

2001年にはマルチメディアを駆使した2号館が完成。キャンパス北側には芝生を敷き詰めたOGU(オグ)広場を開設。さらに緑あふれるキャンパスとなり、お弁当を広げたり、歓談するなどそれぞれに学生生活をエンジョイしています。学生時代から随分時間を経た卒業生のみなさん。校友会総会に参加がてら、このキャンパスを是非目にこれませんか…。



Campus News

語学教育研究所(LEI)

国際教養大学において、英語集中プログラムの代表を務めたM.H.ミットミ教授を所長に迎え、2013年4月に語学教育研究所(Language Education Institute)を設立しました。



語学教育研究所は、語学教育に関するFDならびにワークショップ、講演会、公開講座の開催、調査・研究等の推進、情報発信等の事業を行っています。

そして今年4月から、外国語学部および国際学部の新

入生より希望者を募り、独自の英語教育プログラムである「LEI英語プログラム」を開始しました。

受講生は、1年間もしくは1年半の期間で、「リーディング」や「ライティング」といった基礎科目に加え、レベル別に「コンピューターリテラシー」や「クリティカルシンキング」などの応用科目を学修することで、実践的な英語能力の向上に取り組めます。

このプログラムを修了した学生は、優れた英会話力を身に付けるとともに、海外への留学、インターンシップ、大学院進学など、グローバルに活躍できる扉を開くことができます。



所長 M.H. ミットミ 教授

クラブ紹介

吹奏楽部

大阪学院大学吹奏楽部は、創設者 初代総長 白井 種雄 先生の命を受けて、1968(昭和43)年5月、大阪学院大学応援団吹奏楽部として発足。1973(昭和48)年4月に大阪学院大学吹奏楽部として設立され、2012(平成24)年4月、本学の強化指定クラブとなる「ユニバーシティクラブ」に昇格しました。

部員は、吹奏楽部の活動を通じ規律性や協調性を身につけ、音楽に親しみ、部員相互の親睦を深め、生涯学習の一環として活動しています。また、常に音楽性を追求し、社会や文化活動に貢献し、大きな夢や感動を与える団体として活動することを目的としております。この目的を達成するために、吹奏楽

コンクール、マーチングコンテスト、定期演奏会を中心に活動し、他にも入学式や卒業式の式典演奏、スポーツ団体への応援演奏、地域社会との音楽交流、吹奏楽連盟の行事参加など積極的に活動しています。

本学吹奏楽部の特色としては、更なる音楽性向上のために現在、大阪交響楽団首席打楽器奏者である花石真人(はないしまなと)氏に常任指揮者としてご指導いただき、また全パートにおいてもプロの講師陣によるマンツーマンレッスンを実施しています。

今後は、部員一同で目的達成のために日々努力しますので、今後ともOB・OGの皆さまのご支援とご指導をよろしくお願いいたします。

【過去のおもな出演行事】

- ・御堂筋パレード(大阪)〔1983年～2007年〕
- ・夏季ユニバーシアード神戸大会(兵庫)〔1985年〕
- ・なみはや国体ファンファーレ隊(大阪)〔1997年〕
- ・チンゲイ・パレード(シンガポール)〔1997年〕

- ・メルボルン・ムーンパフェスティバル(オーストラリア)〔1998年〕
- ・シドニー2000オリンピックバンド(オーストラリア)〔2000年〕
- ・毎日甲子園ボウルハーフタイムショー(兵庫)〔2003年～2009年〕
- ・ホノルルフェスティバル2005(アメリカ)〔2005年〕
- ・東京ディズニーリゾート・スペシャルパレード(大阪)〔2013年〕



教員からのメッセージ

今度いつ帰ってきますか

卒業生の皆さん、岸辺駅も超近代的なゴージャスな駅に変わっていますよ。緑の芝生を敷き詰めたOGU広場、心が安らぎますよ！いつでも帰ってきてくださいね。

申し遅れました。私、三上は26年前国際学部創立のために赴任して以来、最近経済学部に移りましたが、今でもアジア関係の大講義や大学院の授業を担当。学部のゼミでは、バレーボールや卓球なども学生と一緒に楽しんでいます。

最近、多くの人いろいろな機会に帰って来てくれています。先日も卒業後7年、アメリカ人男性と結婚して里帰りした人を中心に4人の女性が訪ねてくれ、楽しいひと時を過ごしました。その縁で、バングラデシュを中心に活躍する同期の気鋭の起業家に、大変刺激的な講演をしてもらいました。

ところで、私も校友会総会後の懇親会にはほぼ毎年出席。初参加の人ともできるだけお話するようにしています。支部総会にもあちこち顔を出させていただいているが、どの会場も家族連れの人も多く、和やかで楽しいですね。

大学院で学ぶために戻って来る人も多いですよ。卒業後数十年を経て、関心を

持つテーマについて掘り下げ、論文としてまとめてみるって、刺激に満ちた挑戦ですよ。どうぞお気軽にチャレンジを！

また、親子二代にわたって本学、という人も実によく増えました。教育懇談・保護者会などで「自分も本学出身です。」と告げられると「よくぞ帰って来てくださいました。」と言うことにしています。実際に学生諸君から、兄弟やいとこや親戚の子も学んでいると聞けば、なんだかキャンパス全体が絆で結ばれているかのように感じられて、とてもうれしくなりますね。

皆さんがシンボルとして見上げた時計台も、きっと温かく迎えてくれますよ。再訪が、青春の軌跡を辿り、「リセット」のためのよい機会ともなりますようお願いしています。



経済学部 教授
三上 敦史

私のお勧めの一冊

書名:『明治の人物誌』 著者:星 新一 発行:新潮社(新潮文庫)

本書は、著者の星新一の父である星一(はじめ、星製菓の創業者)と何らかの形で縁のあった人物10名、すなわち中村正直、野口英世、岩下清周、伊藤博文、新渡戸稲造、エジソン、後藤猛太郎、花井卓蔵、後藤新平、杉山茂丸の評伝である。

ここに取り上げられているのは、野口英世、伊藤博文、エジソンのように超有名人から後藤猛太郎のようにほとんど無名の人物まで実に多彩である。

なぜ私が35年前に出版された作品を校友会の皆さんに推薦するかといえば、本書は、明治という現代とはまったく精神状況の異なった時代を理解するのに打って付けのものといえるからである。

ここに登場する人物の幾人かは、一種の怪物といってよい人物で、破天荒な生き方をした人びとである。

たとえば、後藤猛太郎であるが、彼は、大政奉還や自由民権運動で活躍し、伯爵を授けられ、通信大臣、農商務大臣を歴任した後藤象二郎の長男で、文久2(1862)年英独仏の3カ国語を自由にこなせ、仕事もできるが、酒と芸者遊びが好きで金銭感覚にルーズであったため、父親から勘当されたり、彼の才能を見込んで就職の世話をした外務卿の井上馨や宮内大臣の土方久元の期待を裏切り、その就職先である外務省や通訳係を免職になって浪人生活を送るなどしたが、後に銅山の事業で成功し、勘当も許され、父親の死後伯爵を継いだ人物である。伯爵となった後も豪遊は続き、やがて借金生活に陥り、邸宅を取られ、家財も競売にかけられ、挙句の果て杉山茂丸の家に駆け込んで居候となり、杉山の世話で仕事にも就いた。その後、台湾総督府の民生長官・後藤新平の私設秘書となり、その任を終えて東京に戻った後、伯爵間の互選で貴

族院議員に当選した。またそのころ日本に入ってきた映画の将来性に目をつけ、日本製の映画を作るため日本活動フィルム会社(日活の前身)を設立して初代社長となり、大正2(1913)年51歳で死去した。後藤猛太郎の豪遊ぶりや自由奔放な生活ぶりの詳細については本書にゆずるが、彼の生涯をみると、周囲にはいつも生活の面倒から就職の世話までしてくれる支援者がおり、自分のことで精一杯で他人のことにまで手が回らない現代とは異なり、明治という時代の余裕を感じさせる。

また、野口英世であるが、彼は福島県の貧しい農家に生まれ、左手に大火傷を負うというハンディを抱えながら、幼少の頃から勉強ができ、努力・忍耐・勤勉が実り、世界的な医学者になったまさに立志伝中の一人で、彼の名を知らない人はほとんどないと思われる。しかしながら、彼が借金をしてまで女遊びにふけたことがあると知ればさぞ驚かれるとともに、真似のできない近寄りた人物ではなく、さわめて人間的で親しみがわいてくるのではないだろうか。本書を読めば、野口がその才能を存分に発揮できたのは、その行く先々で幾人もの良き理解者と支援者に恵まれたことが最大の理由であったことがわかる。

世知辛く、利己的で、他人への思いやりを欠くことが多い現代の風潮を忘れ、明治という時代の良き一面を実感できる絶好の書物として、この一冊を校友会の皆さんに推薦したい。



法学部 教授
藤田 弘道

教員人事

(平成26年3月1日現在)

●国際センター
S.H.ダルトン 准教授
D.チャン 講師
L.A.マークスラグ 講師

(平成26年3月25日 退職予定)

●流通科学部
安間 慈 教授
地引 淳 教授
杉本 公彦 教授
宮下 淳 教授
奥田 真也 准教授

●経営学部
遠藤 芳江 教授
山中 芳夫 教授
安川 文夫 講師

●経済学部
尾上 征英 教授
中川 準治 教授
野村 紘彦 教授
森田 忠士 講師

●法学部
岡田 春男 教授
東 泰介 教授
●外国語学部
吉村 秀幸 教授

(平成26年3月31日 退職予定)

●情報学部
関澤 俊弦 准教授
●企業情報学部
宮本 寛爾 教授

岡山支部

連絡先 折田諒司 会計
TEL/086-225-1078

岡山支部活動報告

桃の花の甘い香りが瀬戸内のそよ風に運ばれ、内海には金波・銀波が輝き、春の息吹きを感じられる季節になりました。

さて、大阪学院大学校友会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝の事と存じます。平成25年6月30日(日)岡山プラザホテルにて第13回岡山支部総会及び懇親会を開催いたしましたところ、校友会本部より岡本会長等をはじめ、大学より金川教授、そして県外より各支部の役員様を含め50名の皆様の出席を頂き厚くお礼申し上げます。また、来賓の方々から温かいご祝辞を頂き、大学の最新情報のお話、県外の方々との情報交換の場としても、岡山支部と致しまして大変感謝し、懇親を深める事が出来たように思います。

そして、第52回岸辺祭に岡山支部が岡山の特産品で「初出店」！全品完売の偉業に中山支部長もビックリ。ご協力、ご協賛頂きました支部会員様、有難う御座いました。

岡山支部では、岡山県在住で興味がある方は、是非連絡先までご連絡をお願いします。



総会日程 平成26年7月13日(日) 岡山プラザホテル

東海支部

連絡先 加藤渉 支部長
TEL/090-4088-2399

東海支部活動報告

いつも東海支部活動にご理解、ご支援を頂き誠にありがとうございます。

地域に根ざした特色ある支部活動として、愛知・岐阜・三重の卒業生を育んだ地域産業文化の良さを掘り起こす「地域文化講座」も、はや4回目を数えました。

昨年4月には三重県鳥羽市で一泊し懇親を深めながら、1600年も続く式年遷宮の意義と古代より受け



継がれてきた心と技を未来に継承する文化を肌で感じてまいりました。

また、11月には愛知県岡崎市を訪ね、三百年の泰平の世の礎を築いた徳川家康公生誕の地「岡崎公園と八丁味噌の郷」で、その時代に生きた人々の生活と文化に想いを寄せた秋の一日になりました。



限られた時間ではありましたが、多くのことを学ぶことができた実りの多い地域文化講座でした。

通年の活動としては、東日本大震災被災地の子供達が一日も早く元気を取り戻し、明るい笑顔を見せてくれるように、必要な学用品等を援助するために、「ベルマークを被災地の子供達へ贈ろう！」運動を、今年度も引き続き強力に展開しています。校友会皆様のご協力とご支援をお待ちしています。

母校を通してのご縁を大切にして、大阪学院大学を盛り上げ、「明るく、楽しく、皆が集える」東海支部活動を心がけております。

皆様の積極的なご参加、ご協力をお願いします。



総会日程 平成26年6月15日(日) ウェスティンナゴヤキャッスルホテル

京都支部

連絡先 山口裕平 支部長
(株)ヤマグチ内 TEL/075-841-0430

京都支部活動報告

平成25年7月7日、京都国際ホテルにて「第11回京都支部総会」が開催されました。総会は、大平幹事長進行のもと、会長挨拶ののち、会計報告、役員改選、などの議事の報告があり、全ての議事は承認されました。



ご来賓挨拶は、岡本会長にいただきました。引き続き、懇親会を行いました。余興として、新役員の寺川幹事による居合術を披露して頂きました。流派は柳生心眼流兵法という日本で独自に発達した格闘術で、伝統ある古武道として知られております。独特の間合いの取り方や、真剣を激しく振り下ろす技など、一瞬も目が離せない迫力ある

演舞でした。その後名譽教授の木村昌司先生に乾杯のあいさつをいただき、しばしの歓談のあと恒例行事となったカラオケ大会を行い、大いに盛り上がりしました。最後は校歌を参加者全員が大合唱し盛会のうちに幕となりました。



今年は、新たな企画を考案し、また楽しい懇親会にしたいと思います。



総会日程 平成26年7月6日(日) 京都国際ホテル

奈良支部

連絡先 中井二上 支部長
TEL/0745-48-4880

奈良支部活動報告

桜花爛漫の候、校友会会員の皆様におかれましては、益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

初夏のバーベキュー大会を6月22日(土)にラッテたかまつで開催しました。天候に恵まれ楽しい一時を過ごすことが出来ました。

第7回奈良支部総会及び懇親会を7月14日(日)橿原ロイヤルホテルで開催しました。当日は、大学より三上経済学部教授・若林庶務課長をはじめ多数のご臨席を賜り、盛大に開催されました。懇親会ではマジックショーやビンゴ大会が盛り上がりしました。

岸辺祭の模擬店に奈良支部が10月20日(日)参加致しました。靴下の詰め放題・大和野菜・あてものが大変好評でした。台風の関係であいにくの雨でしたが、角田学生部長の「ビザ」の差し入れが心暖まる応援でした。今年は大和野菜が期待できそうです。

秋のバーベキュー大会を11月4日(祝)にラッテたかまつで開催しました。実りの秋・食欲の秋、会員の親睦会が盛大に行われました。

恒例の「第7回新年会」が1月19日(日)に橿原ロイヤルホテルで開催されました。和室の会場がとても人気があり、美味しい料理に舌つみでした。

奈良支部では役員一同、魅力ある支部活動を目指しています。

今年の総会・懇親会には多くの卒業生のご参加をお待ち致しております。



総会日程 平成26年6月29日(日) 橿原ロイヤルホテル

滋賀支部

連絡先 仲野弘子 支部長
TEL/077-573-3954

■ 滋賀支部活動報告

校友会会員の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は、本支部の活動に対しまして、積極的にご参加いただき、また、ご協力、ご支援賜り、心から厚くお礼申し上げます。おかげさまで、本支部も平成25年で7年目を迎えることができました。この間、校友会の会員の皆様方に滋賀県の良さを知っていただこうと、びわ湖が眺望できるホテルや、びわ湖を周航する湖上船において、総会及び交流会を開催させていただきました。また、その他の活動として、ご家族や同級生などで楽しめるボーリング大会の開催や、ボランティア活動としてびわ湖岸の清掃を実施しております。今後とも、引き続き魅力ある活動を展開していきたいと考えておりますので、ぜひ、卒業生の皆様、ご参加くださいますようよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、会員の皆様方、大阪学院大学の関係者の皆様方のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます。



総会日程 平成26年6月1日(日) 琵琶湖ホテル

広島支部

連絡先 開地順一 幹事長
TEL/084-922-8921

■ 広島支部活動報告

校友会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、広島支部では平成25年度支部総会を初めて広島市内で開催しましたところ6名の新入会員の出席があり、大変盛んに総会を開催することが出来ました。

また8月には会員のご家族にも楽しんで頂ける行事をと考え「ボーリング大会&納涼会」を初めて開



催し、幹事が思っていた以上に盛り上がり、好評でしたので慣例行事にしていきたいと考えております。

また、これからも会員皆様に喜んで参加して頂ける支部活動を考えご案内してまいりたいと思いますので、皆様の参加を心よりお待ち申し上げます。



総会日程 平成26年6月22日(日) ひろしま国際ホテル

北陸支部

連絡先 大矢文男 支部長
TEL/090-2832-0214

■ 北陸支部活動報告

校友会会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は本支部の活動に深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。本支部は、富山県・石川県・福井県の三県で構成されております。

支部創立3年目の平成25年7月21日にホテル金沢にて第3回北陸支部総会及び懇親会を開催させていただきましたところ、校友会本部より岡本会長をはじめ、大学より角田学生部長、そして県外各支部の役員様の出席を頂き盛大に開催されました。

北陸支部では、岸辺祭への特産品販売での参加、福井で開催の駅伝に参加される陸上部の応援等、支部活動を通じて会員相互の親睦を図り、母校大阪学院大学のさらなる発展に寄与出来るよう今後も活発に支部活動を進めていく所存でございます。

本年は、6月に金沢にて第4回北陸支部総会及び懇親会の開催を予定しております。

北陸地区在住の卒業生の皆様の多数の参加を心よりお待ちしております。



総会日程 平成26年6月8日(日) ホテル金沢

四国支部設立準備中

■ 四国支部設立準備報告

大阪学院大学校友会は現在83,000人を超える会員の方が全国各地で活躍されており、四国地域(香川県・愛媛県・高知県・徳島県)には約2,700名の会員の方々がいらっしゃいます。

四国には徳島支部が既存しておりますが、さらなる発展を目指し、香川・愛媛・高知県の3県を加え新しく四国支部設立に向け準備をしております。

校友会本部との連携を基に母校の発展と四国地域の貢献に寄与すること、および四国地域在住の会員相互の親睦・交流を深めることを目的に、四国支部設立の準備を進めております。

今後は諸先輩のご指導のもと設立総会を契機に、四国地域ならではの行事を企画・開催していく予定です。

四国地域在住の皆さん、四国支部へのご参加をお待ちしておりますとともに、今後より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



総会日程 設立準備総会の日程は決定次第お知らせします

平成25年度 総会・懇親会 開催

平成25年5月18日(土)正午より母校大阪学院大学本館7階ホールにおいて、校友会総会が開催されました。
富田幹事による司会進行で、岡本会長より開会の挨拶を頂きました。議長には橋本副会長、書記には辻幹事・原田幹事が承認され、次の通り議事が進行了ました。



事業報告について

議長指名により、森田副会長から次の通り報告があった。

1. 会報(第29号)を平成24年4月1日付で発行
2. 平成24年度大阪学院大学校友会総会・懇親会開催
3. 校友会入学奨励金支給
4. 学生奨励金支給
5. 校友会奨学金支給
6. 卒業記念品を作成し平成24年9月および平成25年3月卒業生に配付
7. 岸辺祭に協賛

平成25年度の事業計画(案)について

議長指名により安部副会長から平成25年度事業計画について次の通り説明があった。

1. 会報(第30号)を平成25年4月1日付で発行
2. 平成25年度大阪学院大学校友会総会・懇親会開催
3. 校友会入学奨励金支給
4. 学生奨励金支給
5. 校友会奨学金支給
6. 卒業記念品を作成し平成25年9月および平成26年3月卒業生に配付
7. 岸辺祭に協賛

決算報告について

高田会計より決算報告書に基づき報告があった。

会計監査報告について

決算報告に引き続き、議長指名により石原監査役から平成25年4月22日(月)、黒石・石原両監査役により監査を行った結果、正確に執行されているとの報告があった。



平成25年度予算(案)について

議長指名により前野会計から配布資料

「平成25年度大阪学院大学校友会予算書(案)」に基づき説明があった。

各議事について報告・説明の後、質疑応答があり、議長から承認を求め全ての議題が満場一致の拍手をもって承認されました。

以上により本総会の議事を終了し、司会者から総会出席者に対し審議協力の謝意が述べられ閉会となりました。

総会後は出席者の記念写真が本館前にて行われ、懇親会へと移動されました。

懇親会の様子

総会終了後はクリアランス(‘03メジャーデビューした卒業生のアカペラヴォーカルグループ)のオープニングセレモニーで始まり、岡本会長の挨拶、角田学生部長より祝辞、森田副会長の乾杯の発声を頂き、歓談のひと時を過ごしました。

今回は、恒例のチアリーダー・吹奏楽部の皆さんによるアトラクションや合奏に加え、落語家として活躍されている笑福亭羽光さんの楽しい小話や、「バッタおじさん」として各地で感動と喜びを伝えておられる河村信幸さんに手品を披露していただくなど、卒業生による催しもあり、今まで以上に楽しい懇親会を開く事が出来ました。

また、今年度も卒業生の交流の場として、昭和43、58年の卒業生を懇親会にご招待させて頂きました。皆様には大変喜ばれており、これからも益々校友会を盛り上げて参りますので、是非ご参加下さい。



平成 24 年度大阪学院大学校友会決算報告書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額
会 費 収 入	35,415,000	38,565,000
受 取 利 息	0	2,525
校友会維持基金取崩収入	0	0
雑 収 入	0	227,550
前 年 度 繰 越 金	13,540,156	13,540,156
合 計	48,955,156	52,335,231

支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額
校 友 会 維 持 基 金	0	0
校 友 会 奨 学 基 金	0	0
校友会館建設特定預金	0	0
校 友 会 奨 学 金	1,250,000	1,250,000
入 学 奨 励 金	3,000,000	500,000
学 生 奨 励 金	500,000	130,000
会 議 費	300,000	109,568
事 務 費	250,000	201,600
慶 弔 費	100,000	57,300
総 会 費	2,000,000	1,623,426
会 報 費	2,300,000	2,359,350
通 信 運 搬 費	3,200,000	3,018,618
支 払 手 数 料	100,000	49,380
旅 費 交 通 費	3,500,000	2,551,350
卒 業 記 念 品 費	3,000,000	2,923,830
支 部 助 成 費	8,200,000	6,917,698
備 品 購 入 費	50,000	54,600
保 険 料	50,000	13,500
水 道 光 熱 費	300,000	265,543
行 事 協 賛 金	2,500,000	2,495,839
事 務 機 使 用 料	500,000	519,150
図 書 費	50,000	47,100
賃 借 料	3,906,000	3,906,000
人 件 費	7,000,000	6,798,766
印 刷 製 本 費	100,000	58,075
消 耗 品 費	400,000	52,268
修 繕 費	50,000	48,920
委 託 費	157,500	157,500
雑 費	1,000,000	658,933
予 備 費	5,191,656	0
小 計	48,955,156	36,768,314
収 支 差 額	0	15,566,917
合 計	48,955,156	52,335,231

資産の部

財 産 目 録

平成25年3月31日

科 目	金 額 (円)	備 考
流 動 資 産	(30,323,427)	
現 金	336,967	
普 通 預 金	21,436,460	三菱東京 UFJ 銀行、みずほ銀行吹田支店他 3 行
郵 便 振 替	8,550,000	岸辺駅前郵便局
固 定 資 産	(18,163,380)	
建物付属設備	14,010,500	校友会事務所内装・電気工事費(注 1)
敷 金	4,000,000	(有)オクタファミリー 預け入れ
電 話 加 入 権	152,880	(06)6318-3260,(06)6318-3261
合 計	48,486,807	

(注1) 建物付属設備の取得合計額14,010,500円の償却累計額は12,494,561円である。

負債の部

科 目	金 額 (円)	備 考
流 動 負 債	(624,854)	
未 払 金	500,000	入学奨励金 5 名分
預 り 金	124,854	社会保険料・源泉所得税
合 計	624,854	

平成 25 年度大阪学院大学校友会予算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

収入の部

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
会 費 収 入	36,660,000	大学 @15,000円×1,256名(1,380名×91.0%)=18,840,000円 @15,000円×1,143名(1,256名×91.0%)=17,145,000円 短大 @15,000円× 24名(27名×87.0%)=360,000円 @15,000円× 21名 (24名×87.0%)=315,000円 在塾者大学・短大とも平成25年4月1日現在数に基づく。
受 取 利 息	0	預金利息
校友会維持基金取崩	0	
前 年 度 繰 越 金	15,566,917	
合 計	52,226,917	

支出の部

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
校 友 会 維 持 基 金	0	
校 友 会 奨 学 基 金	0	
校友会館建設特定預金	0	
校 友 会 奨 学 金	1,250,000	@250,000×5 人
入 学 奨 励 金	3,000,000	
学 生 奨 励 金	500,000	
会 議 費	300,000	
事 務 費	250,000	
慶 弔 費	100,000	
総 会 費	2,000,000	
会 報 費	2,500,000	会報第 30 号印刷代等
通 信 運 搬 費	3,200,000	総会案内・会報発送代金・電話料金等
支 払 手 数 料	100,000	
旅 費 交 通 費	3,000,000	
卒 業 記 念 品 費	3,500,000	
支 部 助 成 費	7,500,000	
備 品 購 入 費	150,000	
保 険 料	50,000	火災保険料
水 道 光 熱 費	350,000	
行 事 協 賛 金	3,500,000	
事 務 機 使 用 料	700,000	
図 書 費	50,000	
賃 借 料	3,906,000	@325,500×12
人 件 費	8,000,000	
印 刷 製 本 費	100,000	
消 耗 品 費	500,000	
修 繕 費	50,000	
委 託 費	157,500	
雑 費	1,000,000	
予 備 費	6,513,417	
合 計	52,226,917	

基金繰入内訳表

平成25年3月31日

科 目	金 額 (円)	備 考
校友会館建設特定預金	349,600,000	みずほ銀行吹田支店他 1 行
校友会維持基金	42,510,017	岸辺駅前郵便局
校友会奨学基金	134,600,000	りそな銀行吹田支店他 1 行
合 計	526,710,017	みずほ銀行吹田支店他 2 行

平成24年度収支決算書・財産目録・基金繰入内訳表を上記のとおり報告いたします。

平成25年4月22日

会 長 岡 本 寿 和 印
会 計 高 田 純 一 印
会 計 小 松 久 美 子 印
会 計 前 野 晃 久 印

監 査 報 告 書

大阪学院大学校友会 平成24年度収支決算書・財産目録・基金繰入内訳表、
各項の調査を遂げ、その正確なることを認定いたします。

平成25年4月22日

監 査 役 黒 石 健 弘 印
監 査 役 石 原 淳 行 印

学生奨励金贈呈報告

毎年、優秀な成績で全国大会などに出場したクラブ、本校の為に慈善事業をした団体に対し、校友会から学生奨励金を贈呈しています。



月 日	クラブ・団体名	大会・主催者名
H25年11月5日	陸上競技部	第31回 全日本大学女子駅伝対校選手権大会
H25年12月5日	バスケットボール部	第65回 全日本大学バスケットボール選手権大会
H25年12月5日	バレーボール部	第66回 秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会
H25年12月5日	陸上競技部	第75回 関西学生対校駅伝競走大会 丹後大学駅伝

女子駅伝応援報告

富士山女子駅伝で 全日本大学女子駅伝の雪辱を果たす！



昨年10月に仙台市で開催されました「全日本大学女子駅伝対校選手権」に5年連続(20回目)で出場することになった陸上競技部(女子)を応援するため、今年もバス応援ツアーを実施いたしました。当大会の前哨戦となる関西学生

女子駅伝では初優勝し、またシード校として前回は上回る成績が期待されるなか、出場する選手たちを少しでも多く応援しようと、バス3台で部員と教職員・吹奏楽部としてOBたちが現地入りしました。そして現地では岡本会長とも合流し、数班に分かれて選手たちへ熱いエールを送りました。

しかし、1区の出遅れ(区間21位)が響き、2区から5区まで区間一桁順位のペースで11位まで追いつけましたが、駅伝特有の流れに乗ることができずに14位という



結果となり、昨年より一つでも順位を上げるという目標を果たすことはできませんでした。

しかし、この悔しさをバネに選手が一丸となり、11月のFUKUIスーパーレディーズ女子駅伝

では、過去最高順位の3位となりました。そして、12月に富士市・富士宮市で開催された富士山女子駅伝(全日本大学女子選抜駅伝競走)では見事5位に入賞し、10月に開催された全国大会の雪辱を果たす快走に結び付けることができました。

この富士山女子駅伝は2009年、つくば市における開催を最後に休会となりましたが、「全日本大学女子駅伝対校選手権(杜の都駅伝)」と並ぶ大学女子の2大会のひとつとして、昨年度から世界遺産登録が決定した富士山の麓を舞台に4年ぶりに実施され、本学は記念すべき1回目の大会で好成績を収めることができました。

また、2区で中新井美波選手(平成25年度卒業)が区間賞を獲得し、全国大会では部史上初の快挙も成し遂げました。



陶芸無料教室開催

内 容 一人一点製作します。(皿などを予定)当日は形成までで、焼成後の作品は、引き取り、または送付(各自負担)となります。

日 時 2014年8月4日(月)～6日(水) 14:00～16:00

場 所 いずれか一日で現地集合「二上窯まんだら焼工房」
奈良県葛城市染野123番地 TEL:0745-48-4880
近鉄南大阪線「当麻寺」駅下車 徒歩約10分 駐車場有

対 象 在学生・卒業生および家族(各日10名様)

お申込 7月31日(木)までに校友会へご連絡ください。 TEL:06-6318-3260

HP <http://mandarayaki.blog.so-net.ne.jp/> 陶芸体験の様子がご覧になれます。



大阪学院大学

fighting spirits

第52回岸边祭「不屈の闘志」

～学院生よ 情熱は足りているか!～

平成25年10月19日(土)・20日(日)

雨が降りしきり中でのショーでしたが、それでもたくさんの方に来ていただきました。キッズショーは、「それいけ!アンパンマンショー」と「ドキドキプリキュアショー」の2本立てを午前・午後の各2回の公演で、ショー終了後はキャラクターとの写真撮影もあり、レインコートを着た子供たちは雨でも大喜びでした。また、支部による模擬店出店では新たに3支部の協賛があり、大盛況の中、終了する事が出来ました。今年の岸边祭は、10月第3週末に開催予定です。みなさまのお越しを心よりお待ちしております。

校友会は
20日(日)
キッズショーに
協賛!



今回は5支部が協賛してくれました!!

奈良
支部



靴下の詰め放題・当てもの・お楽しみ袋

靴下の詰め放題は、岸边祭開催前から問合せが来ていたくらい人気で、昨年も沢山の方が夢中になっていました。子供達には当てものが大人気! 大人も子供も楽しそうでした。

北陸
支部



富山: ブラックラーメン・シロエビせんべい
石川: 丸谷焼・加賀のおかき
福井: 福井県産コシヒカリ米・鯖のへしこ

と、盛りだくさんの品数を協賛いただきました。雨の中、一番持ち帰りが大変なお米が飛ぶように売れていました。

東海
支部



ラスク・ハズレなしの射的

射的は、倒れなくても当たればOK!とあって、雨が降っていたにも関わらず子供たちは夢中で長蛇の列が出来ていました。

岡山
支部



バナナロール・ピアグラス・ジーンズ端切れ
有名なキムラヤのバナナロールは、数量限定のため、すぐに完売!! アカペラグループ・クリアランスのボーカル国代さんも駆け付け、ご協力くださいました。ありがとうございました。

滋賀
支部



小魚等のつくだ煮

びわ湖にしかない魚のつくだ煮から定番の鮎の南蛮漬けまで種類がたくさんあって、色々なつくだ煮が店先に並び賑わっていました。

大阪学院大学校友会

総会ならびに懇親会 開催案内

日時:平成26年5月17日(土)

総会:大阪学院大学本館7階ホール
12:00~(受付11:30~)

懇親会:大阪学院大学14号館02-01教室
13:00~(受付12:30~)

会費:一家族につき3,000円(当日徴収)
*平成25年9月、平成26年3月に
卒業された新会員の方は無料です。



<お願い>

ご出席の場合は平成26年5月8日(木)必着で、同封のハガキにて返信してください。

懇親会では、現役クラブ生によるアトラクションやイベント、お子様コーナー、
料理コーナーを設けておりますので、ご家族揃ってお楽しみいただけます。
是非、ご家族お誘い合わせの上お越しください。

特別ご招待

昭和44・59年の卒業生の皆様へ

平成26年5月17日(土)の懇親会にご招待します。(会費無料)

校友会では、多くの卒業生の方々に校友会活動を知って頂き、会員相互の親睦をより一層
深めて頂きたいとの思いから、卒業30・45年を迎えられる皆さまに是非懇親会にご参加
頂きたいと願っております。

そこで本年は、昭和44・59年の卒業生の皆さまをご招待することといたしました。

久しぶりとなる母校を訪ね、校友の皆さまと楽しい交流のひとつをすごされませんか？

なお、校友会では今後も卒業30・45年を迎えられる皆さまを順にご招待いたします
ので、同窓生お誘い合わせのうえ、是非ご参加ください。

*本年度は、昭和44・59年に卒業の皆さまは、校友会費の納入状況に関係なく無料でご招待します。

なお、卒業年に関係なく参加費をお支払いいただければ卒業生ならびにご家族は、どなたでも懇親会への参加は可能です。

<お問合せ>大阪学院大学校友会 TEL(06)6318-3260 E-mail:koyu@ogu.ac.jp

日本学生支援機構(旧・日本育英会)からのお知らせ

日本学生支援機構(旧・日本育英会)の奨学金を返済されている方(卒業生)で、経済的困難により返還が困難になった場合は
「奨学金返還期限猶予願」もしくは「奨学金減額返還願」を日本学生支援機構に提出してください。

返還期限猶予・減額返還制度・願出方法の詳細については、ホームページ <http://www.jasso.go.jp> または、電話(ナビダイヤル:0570-03-7240)でご確認ください。

本学卒業生の子女および兄弟姉妹 / 本学在学生の兄弟姉妹対象

ファミリー推薦入試

「学費減免制度」

入学者全員に初年度学費から **20 万円** を減免します。

ファミリー推薦入試については、「2015 年度入試ガイド」をご覧ください。

大阪学院大学・大阪学院大学短期大学部では、ファミリー推薦入試以外にも、学習意欲とチャレンジ精神をはぐくむ様々な奨学金等を整えています。奨学金制度等についての詳細は学生課までお問い合わせください。

入学金・学費および諸会費について

全学部・学科 共通事項

- 2015 年度分の入学金・学費および諸会費を示しています。
- 1 年次前期諸会費: 学友会入会金 (1,000 円)、学友会費 (2,000 円)、後援会入会金 (5,000 円)、後援会費 (4,000 円) の合計。
- 1 年次後期以降の諸会費: 学友会費 (2,000 円)、後援会費 (4,000 円) の合計。
- 受講する科目によっては、別途実習費等が必要となる場合があります。

大学 ● 商学部 ● 経営学部 ● 経済学部 ● 法学部 ● 外国語学部 ● 国際学部

(円)

学 年	入学金	学 費				諸会費		合 計
		授業料		施設設備費		前期	後期	
1 年次	200,000	464,000	464,000	60,000	60,000	12,000	6,000	1,266,000
2 年次	—	464,000	464,000	60,000	60,000	6,000	6,000	1,060,000
3 年次	—	464,000	464,000	60,000	60,000	6,000	6,000	1,060,000
4 年次	—	464,000	464,000	60,000	60,000	6,000	6,000	1,060,000
計	200,000	1,856,000	1,856,000	240,000	240,000	30,000	24,000	4,446,000

大学 ● 情報学部 (単位制授業料制度)

単位制授業料制度について

- ① 授業料が固定費と単位制分 (1 単位 8,000 円) に分かれてます。
- ② 次の表中であらわしている「単位制分 (1 単位 8,000 円)」の授業料は、履修登録後 (入学後) に徴収します。
- ③ 履修登録単位数に応じて各自納入金が異なります。
- ④ 卒業に必要な単位は 4 年間で 128 単位です。各年次の履修登録可能な単位数はそれぞれ 48 単位で、4 年間で最高 192 単位履修可能です。
- ⑤ 履修登録単位数 164 単位を超える履修登録については、単位制分の授業料は徴収しません。

164 単位履修した場合の学費の一例

(円)

学 年	入学金	学 費						諸会費		合 計
		授業料				施設設備費				
		単位制分 (単位数)		固定費				前期	後期	
前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
1 年次	200,000	192,000 (24単位)	192,000 (24単位)	355,000	355,000	60,000	60,000	12,000	6,000	1,432,000
2 年次	——	192,000 (24単位)	192,000 (24単位)	355,000	355,000	60,000	60,000	6,000	6,000	1,226,000
3 年次	——	192,000 (24単位)	192,000 (24単位)	355,000	355,000	60,000	60,000	6,000	6,000	1,226,000
4 年次	——	80,000 (10単位)	80,000 (10単位)	355,000	355,000	60,000	60,000	6,000	6,000	1,002,000
計	200,000	656,000	656,000	1,420,000	1,420,000	240,000	240,000	30,000	24,000	4,886,000

(注) 1. 卒業に必要な 128 単位で卒業した場合の 4 年間の入学金・学費および諸会費総額は 4,598,000 円です。
2. 上記合計金額以外に、実習実習費 (50,000 円) を学年ごとに徴収します。前期のみ前納の場合は 25,000 円です。

短大 ● 短期大学部 (女子のみ)

(円)

学 年	入学金	学 費				諸会費		合 計
		授業料		施設設備費		前期	後期	
1 年次	200,000	464,000	464,000	60,000	60,000	12,000	6,000	1,266,000
2 年次	—	464,000	464,000	60,000	60,000	6,000	6,000	1,060,000
計	200,000	928,000	928,000	120,000	120,000	18,000	12,000	2,326,000



大阪学院大学

OGU 大阪学院大学短期大学部

〒564-8511 大阪府吹田市岸部南二丁目36番1号 ☎ 06-6381-8434 (代表)

公式サイト [PC] <http://www.osaka-gu.ac.jp> 入試情報サイト [PC] <http://nyushi.osaka-gu.jp>